

作成日 2017年03月29日

改訂日 2019年02月27日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名

草取り名人W

会社名

丸和バイオケミカル株式会社

住所

東京都千代田区神田須田町二丁目5番2号

担当部門

開発本部 開発部

電話番号 / FAX

Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323

推奨用途及び使用上の制限

除草剤、農薬登録以外の使用は不可。

整理番号

23892-03

2. 【 危険有害性の要約 】

GHS 分類(分類 JIS)

物理化学的危険性	自然発火性固体	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
生殖毒性	追加区分:授乳に対するまたは授乳を介した影響	
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(免疫系、呼吸器、腎臓)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
	水生環境有害性(長期間)	区分2

* 記載の無い危険有害性については分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
長期にわたる又は反復ばく露による免疫系、呼吸器、腎臓の障害
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じんを吸入しないこと。
妊娠中/授乳期中は接触を避けること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
 漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

3. 【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	アミカルバゾン： 4-アミノ-N-tert-ブチル-4,5-ジヒドロ-3-イソプロピル-5-オキソ-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド
	ブロマシル： 5-ブロモ-3-セコンダリーブチル-6-メチルウラシル
化学式	アミカルバゾン： C ₁₀ H ₁₉ N ₅ O ₂
	ブロマシル： C ₉ H ₁₃ BrN ₂ O ₂

成分及び含有量	化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
<有効成分>			
アミカルバゾン	0.50%	8-(3)-1429	129909-90-6
ブロマシル	0.50%	(5)-937	314-40-9
<その他>			
鉱物質等	99.0%		
(結晶質シリカ)	<92.0%>	(1)-548	14808-60-7

4. 【応急措置】

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

5. 【火災時の措置】

消火剤	水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、シアン化水素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、呼吸用保護具)を着用する。

6. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。
-----------------------	--

環境に対する注意事項	漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等を着用すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
二次災害の防止策	漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。 特になし

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い	取扱いは、換気のよい場所で行う。 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。 取扱う場合は、局所排気、又は全体換気の設備のある場所で取扱う。 保護手袋及び保護眼鏡、呼吸用保護具を着用する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 粉じんの発生をさける。
保管	直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。 食品や飲料から離して保管する。

8. 【 ばく露防止及び保護措置 】

設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度 許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH	粉じん $3.0/(1.19Q+1)(\text{mg}/\text{m}^3)$ Q:遊離珪酸含有率(%) 吸入性結晶質シリカ $0.03\text{mg}/\text{m}^3$ (2018) 第3種粉じん 吸入性粉じん $2\text{mg}/\text{m}^3$ 総粉じん $8\text{mg}/\text{m}^3$ (2018) ブロマシル TLV-TWA $10\text{mg}/\text{m}^3$ (2018) 石英一結晶質 TLV-TWA $0.025\text{mg}/\text{m}^3$ (2018)
保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	防じんマスク、簡易防じんマスク 保護手袋 保護眼鏡(普通眼鏡型) 長ズボン・長袖の保護服、保護長靴

9. 【 物理的及び化学的性質 】

外観	淡褐色細粒
pH	4.5~7.0(20°C、20%水溶液)
比重	1.40~1.55

10. 【 安定性及び反応性 】

安定性	通常の温度及び保管条件では安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	アミン類、特に第一級アミン、強酸化剤
危険有害な分解生成物	硫酸化物

11. 【 有害性情報 】

急性毒性(経口)	ラット LD ₅₀ : ♀ >2000mg/kg
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ : ♂ ♀ >2000mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギ 軽度の刺激性が認められたが、分類基準に該当しないため、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギ 軽度の刺激性が認められたが、分類基準に該当しないため、区分外とした。
皮膚感作性	モルモット(Buehler 法) 感作性なし
生殖細胞変異原性	本製品は鉱物質として天然の鉱物を含み、その中に区分 2 の石英(結晶質シリカ)を 1.0%以上含むため、区分 2 とした。
発がん性	本製品は鉱物質として天然の鉱物を含み、その中に区分 1A の石英(結晶質シリカ)を 0.1%以上含むため、区分 1A とした。
生殖毒性	本製品は授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分に分類される成分を 0.3%以上含むため、追加区分とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	本製品は鉱物質として天然の鉱物を含み、その中に区分 1(免疫系、呼吸器、腎臓)の石英(結晶質シリカ)を 10%以上含むため、区分 1(免疫系、呼吸器、腎臓)とした。

12. 【 環境影響情報 】

生態毒性	
魚類	コイ LC ₅₀ 値(96hr): >1000mg/L
甲殻類	オオミジンコ EC ₅₀ 値(48hr): 1000mg/L
藻類	緑藻 ErC ₅₀ 値(72hr): 7.57mg/L
	長期間: 急性区分 2 であり、急速分解性および生物蓄積性が不明であるため、区分 2 とした。

13. 【 廃棄上の注意 】

残余廃棄物	内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。
-------	--

14. 【 輸送上の注意 】

国際規制	
国連番号	3077
品名	環境有害物質(固体)(ブロマシル)
国連分類	9(有害性物質)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
MARPOL 条約及び IBC	非該当
コードによるばら積み	
輸送される液体物質	
国内規制	労働安全衛生法、船舶安全法、航空法の規制に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。
応急措置指針番号	171

15. 【 適用法令 】

農薬取締法	第 23892 号
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当なし
労働安全衛生法	第 57 条の 2 通知対象物 ブロマシル(政令番号 502) 結晶質シリカ(政令番号 165-2)

毒物及び劇物取締法	該当なし
消防法	該当なし

16.【 その他の情報 】

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番

	一般市民専用電話 (通話料のみ)	医療機関専用有料電話 (1件につき2000円)
大阪中毒110番 (年中無休、24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば中毒 110 番 (年中無休、9～21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常取扱いを対象としております。